

第3回若手消防団員交流会

令和5年2月4日(土) 13:00~17:00

イヤタカ 5階 ハーモニーホール

次 第

- | | | |
|---|---|--------|
| 1 | 開 会 | 13時00分 |
| 2 | 開会の挨拶
第2期若手消防団員活性化推進チームリーダー 高橋 充秀 | |
| 3 | 報告発表
第1期若手消防団員活性化推進チームの取り組み
「若手消防団員による消防団活動の活性化について」
第1期若手消防団員活性化推進チーム | 13時10分 |
| 4 | グループディスカッション | 14時00分 |
| 5 | 閉会の挨拶
第2期若手消防団員活性化推進チームサブリーダー 木村 和哉 | 16時55分 |
| 6 | 閉 会 | 17時00分 |

開会のあいさつ

第2期若手消防団員活性化推進チームリーダー 高橋 充秀



報告発表



グループディスカッション

テーマ1 SNSによる広報の運用について

- ①発信したいこと。
- ②受信したい情報。
- ③継続性のある運用方法。

テーマ2 消防団活動に感じる課題について

- ①実際の火災現場での消防団の活動。
- ②過疎地域における団活動の在り方。
- ③団活動に対する周囲の理解をどう求めるか（家族・職場）。

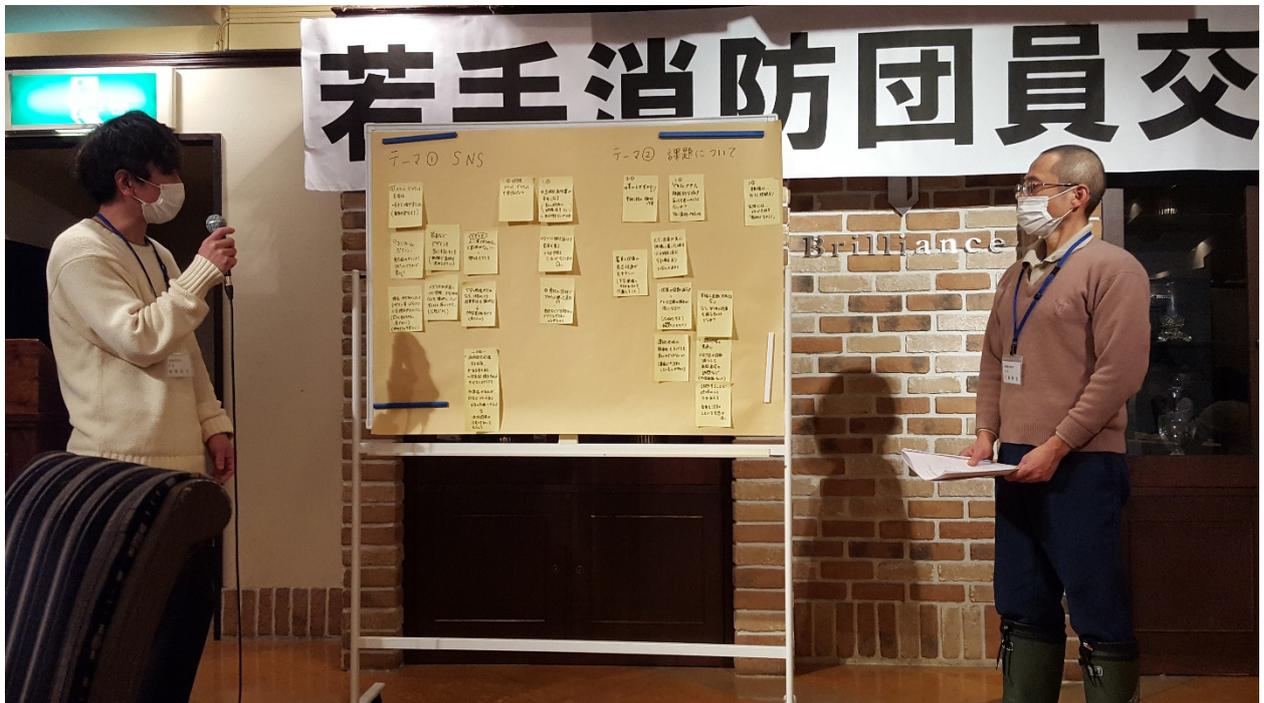
テーマ3 効率的な知識と技術の習得について

- ①現状（操法技術、規律訓練、その他）。
- ②今後取り入れたい消防団活動や資機材等。
- ③知識、技術の習得に参加出来る時間の確保。











閉会の挨拶

第2期若手消防団員活性化推進チームサブリーダー 木村 和哉



第1期若手消防団員活性化推進チームの報告発表内容は以下のとおり

若手消防団員による 消防団活動の活性化について



令和4年12月3日（土）

若手消防団員活性化推進チーム

01 はじめに

(1) 消防団の役割

消防団は、消火活動のみならず、近年増加する地震や風水害等多数の動員を必要とする大規模災害時の救助救出活動、避難誘導、火災防御活動など非常に重要な役割を果たしています。さらに、平常時においても、住民の防火指導、巡回広報、特別警戒、応急手当指導等、地域に密着した活動を展開し、地域における消防力・防災力の向上、地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしています。

(2) 消防団の現状

地域防災の中核的存在として大きな役割を果たしている消防団ですが、消防団員数は社会環境の変化（少子高齢化による若年層の減少、就業構造の変化、地域社会への帰属意識の希薄化等）から減少が続いています。令和3年の全国の消防団員数は前年と比較し約14,000人減少、秋田県で見ても400人減少しています。

(3) 若手消防団員活性化推進チーム設立の背景

消防団員の確保が急務のなか、幹部団員や女性団員向けのイベント等は開催されているものの、若手の主に男性団員向けのイベント、同世代の団員と意見交換出来る場がなかったことから、県内各消防団の活性化と若手団員の確保に繋げるため、**若手団員を対象としたイベントを開催する**ことを目的に準備委員会を立ち上げ、「若手消防団員活性化推進チーム」として活動を行ってきました。

(4) 第1期若手消防団活性化推進チームメンバー

令和4年3月31日現在

支部	所属	階級	氏名	備考
鹿角	鹿角市消防団	部長	板橋 知也	リーダー
大館北秋田	北秋田市消防団	部長	長岐 準之介	
能代市山本郡	能代市消防団	部長	小沼 直久	
男鹿潟上南秋	八郎潟町消防団	班長	加賀谷 真央	
秋田市	秋田市消防団	団員	新田 宏宙	
由利本荘にかほ	由利本荘市消防団	部長	有馬 祐平	
大仙仙北美郷	美郷町消防団	団員	佐々木 和寛	サブリーダー
横手市	横手市消防団	班長	新山 武	
湯沢市雄勝郡	羽後町消防団	副分団長	石垣 亮	
能代山本広域市町村圏組合能代消防署		消防士長	田中 眞美	
秋田市消防本部		消防司令補	浅利 芳和	
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部		消防士長	富田 洋介	
秋田県総務部総合防災課		主幹	宇佐美 晃市	
(一財)秋田県消防協会		事務局長	佐藤 功	事務局
(一財)秋田県消防協会		副主幹	佐藤 孝子	事務局
(一財)秋田県消防協会		主査	石山 和美	事務局

02 若手団員を 対象とした行事の検討

若手団員に、興味を持ってもらえるイベントの検討

操法訓練

消防団活動で1番盛り上がるのは**操法訓練**

- ・各地区で練習方法や取組み方が違う。各地域の操法を披露し、意見交換してみたい。
- ・30歳以下の若手団員でチームを組んで、U30交流大会のようなイベントがあっても面白い。

消防団活動PR

日頃の消防団活動を**PR**

- ・若い世代や地域の方に、消防団がどのような活動を行っているかあまり知られていない。
- ・家族参加型のイベントにすることで、家族に対しても消防団の活動内容を理解してもらえる。

意見交換

各地域の若手団員が何を考えているか**聞いてみたい**

- ・まずは全県各地の消防団でどういう活動をしているか、若手が何を感じているか共有したい。
- ・同世代の横の繋がりを作ることで、今後のチームの活動にも繋がっていくのでは。



若手団員同士で何を感じ考えているか話を聞いてみよう

03 若手団員を 対象とした行事の開催

各地域の若手団員の話聞いてみよう

第1回 若手消防団員交流会

- 開催日：** 令和3年2月6日（土） 13：00～17：00
- 開催場所：** パーティーギャラリーイヤタカ（秋田市中通6-1-13）
- 対象者：** 各消防団から概ね40歳までの団員
- 内容：**
- ①講演「大規模災害時における地域防災のあり方について」
秋田県総務部総合防災課 主幹 宇佐美 晃市 様
 - ②グループディスカッション（4グループ）
【テーマ】（1）若手消防団を増やしていくためには
（2）消防団員のイメージ改善、向上について
（3）消防団活動に感じる課題、活動しやすい環境をつくるには

第2回 若手消防団員交流会

- 開催日：** 令和4年2月5日（土） 13：00～15：00
- 開催場所：** Z o o mによるオンライン開催
- 対象者：** 各消防団から概ね40歳までの団員
- 内容：**
- ①講演「消防団員の普段からの活動しやすい環境づくり」
元横浜市消防局総務部消防団課／
保土ヶ谷消防団本部アドバイザー 丸山 正美 様
- ※新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、グループディスカッションは中止

地域防災のあり方について学ぶ

大規模災害時における地域防災のあり方について



講師の宇佐美様から、東日本大震災時の被災地での経験から、地域防災の重要性について講演いただきました。

【参加者からの感想】

- ・自分が被災地の消防団員だったら**何ができたのか、自助、共助の気持ちを買けたのか**考えさせられた。
- ・実際に現場で経験された話を聞くことができ、改めて**災害への備えの大切さと、消防団の必要性**を感じた。



他地域の消防団活動について学ぶ

消防団員の普段からの活動しやすい環境づくり



講師の丸山様から、横浜市西消防団での活動しやすい環境づくりや、教育訓練等の取組みについて講演いただきました。

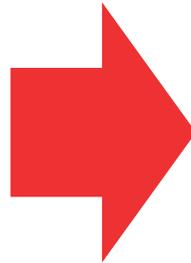
【参加者からの感想】

- ・柔軟で短時間集中型の訓練体制や、**家族を巻き込んだイベント**など、大変参考になった。
- ・他地域を見て、**自分たちが何もしていなかった**ということに愕然とした。これを参考に今後につなげたい。

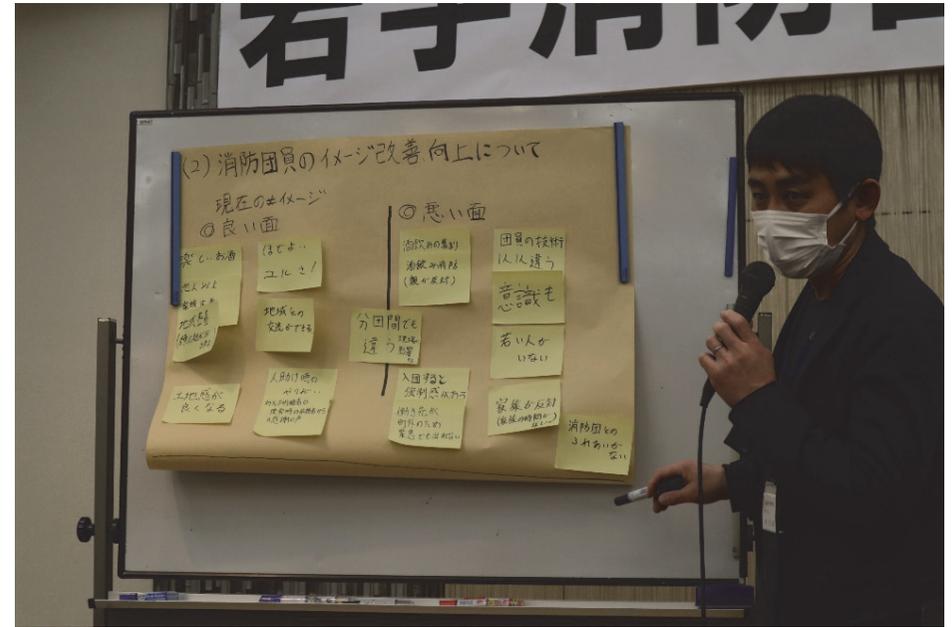
日頃の消防団活動で感じることを話してみよう



グループディスカッション
各グループでテーマについて意見交換



グループディスカッション
出された意見は付箋に書いて模造紙へ



出された意見、課題、解決策について
ディスカッションの内容を発表

日頃の消防団活動で感じることを話してみよう

テーマ 消防団員のイメージ改善、向上について

良かった点

消防操法大会に向けた練習、大会を通じた達成感！

- ⇒団員同士の団結力、交流が深まった。
- ⇒全県大会等で他地域の団員との交流が図られた。

地域の活動に参加することで、住民との交流が広がった！

- ⇒人脈が広がり、プライベートや仕事にも生かされた。

消防団活動に対する住民からの感謝の声。 やりがいや充実感がある！

日頃の消防団活動で感じることを話してみよう

テーマ 消防団員のイメージ改善、向上について

悪い点

消防団に対するイメージが悪い

- ⇒飲み会が多い。「消防＝酒飲み」
- ⇒家族のイメージが良くない。

**入団すると
強制感を感じる**

休日の活動でプライベートが削られる

操法大会練習期間が負担、辛い

**活動費を
分団に取られる**

**消防団が何をしているのか、住民や家族が
理解していない**

日頃の消防団活動で感じることを話してみよう

テーマ 消防団員のイメージ改善、向上について

悪い点

消防団に対するイメージが悪い

- ⇒飲み会が多い。「消防＝酒飲み」
- ⇒家族のイメージが悪い。

入団すると
強制感を感じる

休日の活動

**悪いイメージが
圧倒的に多い**

操法大会

員を
取られる

消防団の活動が、市民や家族が
理解していない

04 若手団員が 感じていること

若手団員が消防団活動で感じていること

若手団員は消防団活動に誇りを持っています！

自分の故郷を守る活動

操法訓練での団結

自分を知ってもらえる

地域との交流

団員間の交流

地域に愛する愛着

消防団活動に感じること、課題

若手がなかなか入団しない

家族の印象が悪い

普段の活動が見えない

意見を言いにくい

いつになっても同じやり方

考え方が古い

原因は？課題を解決するには？

地域の行事に積極参加

パンフレットでのPR

家族参加型イベント

他分団との交流

若手団員もいろいろ考えています！！

**05 私たちは
こんな消防団を
目指します！**

私たちはこんな消防団を目指します

消防団はこうでなければならない！
昔から消防団はこういうものだ！

若手団員の活躍できる組織づくり

若手の声に
耳を傾けよう

感じていること
意見を共有しよう

変化を恐れず
まず行動してみよう

私たちは若手団員が活躍できる消防団を目指し
これからも活動していきます！

私たちはこんな消防団を目指します

~~消防団はこうでなければいけない！
昔から消防団はこうだったのだ！~~

若手団員の活躍できる組織づくり

若手の声に
耳を傾けよう

感じていること
意見を共有しよう

変化を恐れず
まず行動してみよう

私たちは若手団員が活躍できる消防団を目指し
これからも活動していきます！

ご清聴ありがとうございました！

